

ボラステ「情報ボランティア」 岩崎真美さんが復興支援活動報告会で発表

2月4日、仙台市主催による「復興支援活動報告会～つながることがチカラになる 3.11 からの支援のかたち～」が、仙台市市民活動サポートセンターで開催されました。13:00 からの活動事例報告では、東北学院大学災害ボランティアステーションのスタッフであり、「情報ボランティア@仙台」の代表である岩崎真美さんが活動内容を報告しました。

震災後の4月、河北新報社との連携によってスタートした「情報ボランティア」は、宮城県内におけるボランティア活動の様子、ボランティアに集まった人たちの思いを、学生目線で取材し、新聞シリーズで掲載され、同時にブログでも伝えられました。避難所生活をしている被災者からは、新聞を見て、ボランティアスタッフの思いが分かった、その人の経歴などを知って驚いたなどの反響があったといいます。そのやり取りが、被災者とボランティアの距離をぐっと近づけたと思うと語りました。



報告会は定員 80 名で立ち見が出るほどの盛況でした。報告会に引き続き 15:00 からのパネルディスカッションでは「東日本大震災から見たこと」をテーマに、市民、NPO、自治会、企業、行政といった地域を構成する様々な立場のパネリストが登壇。実践的なネットワーク構築の必要性やこれから求められる役割について活発な議論が行われました。



情報ボランティアの活動報告を行う岩崎真美さん